

運営協力金を徴収する理由

<施設維持費>

園庭面積約 7,000 m²という吹田市内でも類がない程の広さと起伏に富んだ立地、また 400 本を超える樹木や小さな生き物が集まるビオトープ、斜面を生かした冒険心を掻き立てる総合遊具、労働の尊さを体験できる農園、飼育舎にはグレースのシンボルである孔雀、珍しいフラミンゴ等々、都会にありながら様々な自然に触れ合うことのできる恵まれた環境の維持管理費としていただきます。

耐震補強を行い快適に過ごせるように改修したグレース・ハウスは、外見は昭和モダンなデザインでありながら、中身は最新の設備（床暖房、大型エアコン 4 台、Wi-Fi、空気清浄機など）を整え、子ども達が集中・発散をスムーズに切り替えられるような部屋の配置や配色、照明などにこだわり、質の高い過ごし方を大切にしています。床材や壁紙等も天然素材のものを扱い、肌触りや居心地の良さにこだわっています。もちろん、清掃業者による定期的な掃除や機器のメンテナンスなどの施設維持費が含まれます。また、自家用車でのお迎えができるように駐車場を確保しており、その維持管理費が含まれています。

<特定人件費>

経験豊かな教職員を配置し、教員免許を取得している保育士が子ども達と関わることで、宿題だけでなく、学習に関して子どもからの疑問に答えることが可能です。広い園庭での外遊びなどにおいては、専属の指導員以外にさまざまな保育士との関わりがあり、安全かつ楽しめるように進めて参ります。用務員、飼育員、運転手、看護師、栄養士、カウンセラー、警備員、経験豊富なフリー保育教諭など、園内にいる大人全員で子ども達を見守っていきます。

<保健衛生費>

「わが国保健事業の母」と称される二代目園長保良せきが一子徹のために設立した幼稚園ですから、子ども達の健康管理は際立った特色です。看護師が常駐しておりますので怪我の応急処置や流行性疾患の早期発見、家庭への健康アドバイスなどを行っております。使わないことに越したことはありませんが、保健用品も厳選したものを揃えております。

おやつ代・昼食代

当園は食育を大切にしており、戦前から給食（当園では昼食と呼びます）を行っております。そのメニューは豊富で味にもかなりの定評があります。食材にこだわり地元の農園と契約して「地産地消」に取り組み、旬の野菜を可能な限り使用しています。より安全で安心な食を提供するためには食材選びがポイントです。またアレルギー対策も十分に行い、当人が差別感をもたないよう見た目にも工夫しています。お代わりも自由です。おやつもできる限り手作りにこだわり、子ども達の栄養管理に努めています。これらのことから必要な設備やこだわりの食材などにかかる費用の上乗せをお願いしています。